

よい そら
宵の空に木星

写真提供 NASA 2018年7月まで探査予定の木星探査機ジュノーが撮影

宵の空、金星とバトンタッチするかのよう、東の空に木星が登場です。現在の明るさは-2.3等級(1年間に-1.7~-2.5等級と変化します)。金星は惑星のため、深夜に輝くことはありません。ですので、深夜でも明るく輝く木星は「夜半の明星」とも言われています。星座を形作る星「恒星」の中で一番明るいおおいぬ座のシリウス(-1.5等級)よりも明るいのです。今季、木星はおとめ座に位置し、おとめ座の1等星スピカの近くに輝きます。よく星は瞬くと言いますが、木星は太陽系の星。地球に近いので多少の風では瞬きません。実際の夜空で黄色っぽい木星と真珠星ともいわれるスピカの青白い星の色を



比べてみてください。左の写真は木星探査機ジュノーが捉えた木星の南極です。木星は縞模様の星、のイメージがありますが、南極付近はたくさんの渦が巻く模様の複雑な大気の様子が見えます。ジュノーは、現在木星を53日周期の楕円軌道を描いて探査を行っています。最接近時には、今までどの探査機よりも鮮明な画像を地球に送信しています。

たび
月への旅 46年ぶり 2018年末に月周回軌道へ

写真提供
スペースX

スペースX社の宇宙船ドラゴンが来年、民間人2人を乗せて、月を周回して地球に帰還する宇宙旅行を行うと発表しました。有人飛行では1972年のアポロ17号以来となります。



あんこくせいろうん つく せいざ
暗黒星雲が作る星座

土・日 春休み中 水~日
一般投映 13:30

北半球に住む私たちは明るい星を繋いで、動物や道具などの星座を作りました。南米インカの人びとは、星を繋ぐのではなく、発想の転換！天の川の中洲のような黒い部分をいろいろな動物にあてはめました。



じゅうせいれんせいいてんたい
今月の見どころの重星連星天体

アルマク(アンドロメダ座γ星) 黄色の2.2等星と青色の5.0等星の二重星。連星系。
リゲル(オリオン座β星) 0.1等青白い星と7等の連星。
カストル(ふたご座α星) 多重連星系(六重連星系) 1.9等のカストルAと2.8等のカストルB。また、それぞれがふたつの星からなる連星。さらにふたつの連星をまわるカストルCも連星、5.0等と6.1等。ε2は5.1等と5.4等の連星系。
かに座イオタ(かに座ι星) 黄色の4.0等星と青色がかつた6.6等星の二重星

しろいメール配信サービスに登録しましょう！
◎文化センターイベント情報 ◎コンサート情報
◎イベント講座情報 イベントの前にメールが届きます。



①オリオン ②おおいぬ ③こいぬ ④いたこ ⑤さそり ⑥おろし ⑦うさぎ ⑧かに ⑨しし ⑩うしかい ⑪おひさま ⑫バルゼン ⑬カシオペア ⑭くま